

「Karoshi(過労死)」

「Karoshi(過労死)」とは、長時間労働による過度の疲労やストレスが原因で、心臓病や脳卒中、自殺などを引き起こす状態を指します。近年、働き方改革が進む一方で、長時間労働や過剰な業務負担が依然として存在し、健康被害のリスクが懸念されています。

「Karoshi(過労死)」を防ぐためには、労働環境の改善や働き方改革の推進が重要です。具体的には、労働時間の短縮、業務負担の軽減、ストレスマネジメントの導入などが挙げられます。

また、労働者自身も健康状態に注意し、無理な働き方を避け、十分な休息と睡眠を確保することが大切です。定期的な健康診断を受けることで、早期に健康問題を発見し、適切な対応を講ずることが可能です。

「Karoshi(過労死)」は、労働者の健康と生命を脅かす深刻な社会問題です。企業、労働者、社会全体が協力して、健康な働き方を推進し、過労死の発生を防止することが求められています。

さらに、労働者の権利を保護し、健康被害を補償するための制度の整備も重要です。労働基準法や労働安全衛生法に基づき、適切な労働環境を確保することが必要です。

詳しくは、<https://karoshi.jp/topics/consultations-202206.html>をご覧ください。

お問い合わせ